

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ガリレオふくおか		
○保護者評価実施期間	2024年10月10日		～ 2024年10月25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16名	(回答者数) 14名
○従業者評価実施期間	2024年10月10日		～ 2024年10月18日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数) 4名
○事業者向け自己評価表作成日	2024年12月10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	事業所と保護者様、相談事業所との密な連携を行い、共にお子様の成長を促していけるよう常日頃から情報共有を行っている	職員間の報連相を徹底し、早急に対応している	これまで行ってきた事業所と保護者、相談員との密な連携を継続するだけでなく、学校との連携を更に充実させていきたい
2	お子様の実態・特性を把握し、ニーズに応じた療育・支援を提供し、達成感を味わいながら自己有用感を高めていくことを全体の支援の方向性としている	お子様の些細な様子の変化を見逃さないように、職員全員で情報共有している	もっと時間をかけて個別支援会議を行い、更なる充実を図っていきたい
3	保護者様の思いに寄り添い、相談しやすく、改善点やご提案等の声を挙げやすい環境であること	常日頃から保護者様と密な連携を取り合い、職員間で情報を共有し、支援に活かすようにしている	事業所で出来ること出来ないことを明確にし、出来る事に関しては精一杯取り組み、保護者様の立場になって気持ちに寄り添っていきたい

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	運営上ギリギリの職員数で支援に携わっている	適切な人材の採用が進んでいない	職員が長く勤務したいと思えるよう、相談しやすく居心地の良い職場環境づくり、公私を充実させることができる福利厚生等の充実等が必要
2	施設内に複数の部屋がないため、個別対応が難しい時がある	施設の構造上の問題のため	療育室のレイアウト変更やパーテーションを設置するなど配置の工夫が必要
3			

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 ガリレオふくおか

公表日 2024年12月10日

利用児童数 16

回収数 14

評価項目	チェック項目	回答状況				ご意見	ご意見を踏まえた対応	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない			
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思えますか。	11	1		2	保育室は、事務室からも見わたせるので、職員が目が行き届いており、安心感があります。	活動の場も十分に取るために、活動内容に応じて配置を検討する必要性を感じています。	
	2 職員の配置数は適切であると思えますか。	3	7	2	2	施設外保育の際は、日頃より多くの職員で子どもを見て欲しいと思えます。	特に施設外保育の際には、多くの職員を配置できるようにしていきます。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思えますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思えますか。	12			2		構造上、出来ない箇所もありますが、安全に配慮しながら変更を行っています。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思えますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思えますか。	14					日々の清掃や消毒等、行っております。指示物は随分減らし、落ち着く環境を提供しています。	
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思えますか。	13	1			子どもの特性に応じた支援を受けています。また、相談にも良く乗って頂いています。	職員研修を頻りに行っており、スキル向上に努めています。	
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思えますか。	13			1	・色々な内容の療育があるので、楽しみにしています。 ・特に運動療育が楽しみなようです。	総合型の放デイとして、療育内容の充実を目指しています。	
	7 こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思えますか。	14				何れも支援について検討した上で計画書を作成して頂いています。	定期的に面談を行い、計画書と相談がないか確認を行っています。	
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思えますか。	14					具体的な支援内容についても、保護者様と検討を重ねた上で設定しております。	
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思えますか。	14				学校への行き渋りが見られますが、学校を休むとデイにも行けないとあって、毎朝渋り出しています。	社会に出て生きる力を育むために必要な療育を検討し、提供しています。	
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思えますか。	11	1		2		特性に応じて内容を変えたり、一人一人のゴール設定を変えるなどして、全員が達成感を味わえるようなプログラム設定をしています。	
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	9	3	1	1	チャン(イベント)では、学校の友だちに声を掛けて参加しました。他の学校の子どもと交流できてとても楽しかったようでした。	今年はチャン(イベント)等を行い、地域の住居や子どもたち呼びかけ、一緒に参加して頂きました。	
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	14					契約時だけでなく、お誘い合わせに際しては、迅速に対応させて頂いております。	
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	14					職員の専門性も合わせて、説明を行い、質問事項については即時お答えできるようにしています。	
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	6	5	1	2	案内はありましたが、参加方法が分かりませんでした。	不定期でZOOMやLineでの研修会や情報提供を行いましたが、周知方法が良くなかったため、参加者は少なかった。今後は、周知方法について検討したいと考えております。	
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状態について共通理解ができていると思えますか。	13			1		その日感じた些細な様子の変化や状態についてお話し、ご家庭での配慮についてもお話ししています。	
16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	14					定期的な面談だけでなく、状況によって、不定期にも面談を行う場合もあります。		
保 護 者 へ の 説 明 等	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思えますか。	11	1		2	しっかりと話を聞いてもらえるので安心感があります。	保護者様のお気持ちに寄り添い、解決を見届けた支援を目指しています。	
	18 父母会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	10	1	1	2	保護者同士の交流の機会はありません。兄弟向けのイベントは行われていません。	今後、兄弟向けのイベントも行っていきます。	
	19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	14				・時間が合わず、夜の時間に相談させて頂いたこともありました。 ・相談や理髪なども、直ぐに対応させて頂いています。	ご提案やご相談については迅速かつ適切に対応できるよう努めております。	
	20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思えますか。	13			1		意思の疎通や情報伝達は大切なことであり、そのため配慮について職員間で都度見直しを行っております。	
	21 定期的な通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	12	1		1		通信等で、行事予定等を発信しております。自己評価の結果は、HPで公表しております。現在HPはリニューアル中の為、近日公開予定となっております。	
	22 個人情報の取り扱いに十分に留意されていると思えますか。	14					個人情報の取り扱いには特に気を配って頂いている印象です。	個人情報の取り扱いについては、同意書と併せて、個人情報が特定できないように配慮しております。
	23 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が制定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	12			2	非常時対応マニュアルがあると説明は受けています。避難訓練も行われています。	保護者様に周知・説明を行っております。緊急時の対応について定期的に職員研修を行っております。	
24 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	11			3	週の利用なので、訓練を受けたことはありませんが、予定には入っていました。	定期的に場面設定を受けて訓練を行っています。今後は、全てのお子様で訓練を受けられる日程で設定致します。		
事 業 所 の 対 応	25 事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思えますか。	13	1			子どもの安全を確保するために、療育内容の変更がありました。	お子様の安全を第一に療育内容の変更をさせて頂いたこともありますが、安全を確保した上で支援を行います。	
	26 暴行等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思えますか。	12			2	怪我等をした際に、事業所から直ぐに連絡があり、対応して頂いたので安心しました。	緊急時の対応について職員研修を行っており、全職員が非常時に対応できるような努めています。	
	27 こどもは安心感をもって通所していますか。	14				子どもの居場所になっています。	安心して帰って来られる場所として、お子様の思いをしっかりと受け止めています。	
	28 こどもは通所を楽しみにしていますか。	14				・学校を休んだ日放デイに行きたいと言います。 ・子どもたち同士が良く、毎回来しみにしています。	安心安全を第一に、お子様を楽しみながら成長できる事業所運営に努めてまいります。	
満 足 度	29 事業所の支援に満足していますか。	13	1			・職員数をもう少し増やして欲しい。 ・学習設備が身についてきた。 ・コミュニケーションの取り方が上達した感じがしています。	利用者様や関係機関との連携を図りながら、お子様の成長を見守っていくよう努めます。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ガリレオふくおか			公表日	2024年12月10日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		療育室・学習スペースなど特性や活動に合わせて提供している	引き続き、活動内容に応じ、安全に配慮しながら十分にスペースを確保していきます。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		指定基準を満たしている	引き続き、適切な人員配置を維持します。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		対応可能な限りのバリアフリーを行っているが、構造上できない箇所もある	危険を見逃さないよう、日々の整備や安全確認を怠らないようにしていきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		職員が毎日掃除を行っている活動に応じて、物の配置を変更している	引き続き、清潔で快適な環境整備を行っています。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		必要に応じて個室を使用できるようにしている	引き続き、継続していきます。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		全職員でPDCAサイクルに取り組み、療育内容の改善に当たっている	引き続き、より良い療育提供に向けてPDCAサイクルに努めていきます。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		保護者様に配布し、調査を依頼し、実施している。支援内容や運営等のアンケートも定期的実施し、ご意見やご要望などの把握に努めている	引き続き、業務改善に努めていきます。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		職員の意見を取り入れ、職員全員でより良い職場環境づくりを行っている	引き続き、職員の意見等を把握する機会を設け、業務改善につなげていきます。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		現在、行っておりません。今後、検討していきます
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		毎週、車内全体で研修を行ったり、事業所内で外部研修を受講したりして、全職員の資質向上に努めている	引き続き、職員の資質向上を目指し、研修機会を確保し、実践活用していきます。

適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		利用者の実態・特性に応じたプログラムを作成している	計画書に沿って、より良い支援プログラムを作成していけるよう各職員の資質向上を目指していきます。
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		個々のニーズに沿って、目標に向かって適切で無理のない計画書を作成している	今後は更に関係機関とより密な連携が必要と考えています。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		職員間で共通理解を深め、子どもの些細な様子も見逃さないように努めている	引き続き、全職員が共通の理解の下で計画を作成していきます。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		全職員で計画を共有し、支援の振り返りを行っている	引き続き、計画に沿った支援を継続して行っていきます。
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		フォーマル・インフォーマル、それぞれのアセスメントを使用し、子どもの状況を把握できるようにしている	引き続き、継続していきます。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		必要な項目を適切にかつ具体的に内容を記載している	都度見直しを行いながら、より適切な内容の設定を行っています。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		利用者様の実態や特性を踏まえ、活動内容を精査し、チームで立案している	引き続き、チームでプログラム内容の立案を行っていきます。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		総合型で、幅広く様々な取り組みを行い、子どもたちの可能性を引き出していくことを意識して、プログラムを構成している	引き続き、個のニーズと照らし合わせ、活動プログラムの内容について問題はないか、個別の支援の行い方について精査し、固定化しないようにしていきます。
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		基本的に集団活動が主であるが、必要に応じて個別活動を組み合わせている	引き続き、必要に応じて、個別活動と集団活動を組み合わせて支援を行っています。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		職員間での引継ぎや打ち合わせ、役割分担を行い、充実した療育を提供するよう努めている	引き続き、支援前の打ち合わせを行い、チームで連携しながら、より良い療育を提供できるよう努めます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		振り返り、気づきについて、共有している	引き続き、支援後の振り返りを行い、より良い療育を提供できるよう努めます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		支援内容の検証・改善について職員間で共有し、記録を残している	引き続き、日々の全体記録、個別記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげていきます。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		3ヶ月ごと、または6ヶ月ごとにモニタリングを行っている	引き続き、同内容の取り組みを継続していきます。
24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		自立活動と日常生活の充実のための活動を主としたそれぞれの基本活動を組み合わせた支援プログラムを提供している	引き続き、個々のニーズに沿った支援を行っていきます。	
25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		特性や実態に応じて、意思表示や自己決定が自らできるよう支援の工夫を行っている	引き続き、自己決定する力を育むための支援を継続していきます	

関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参加しているか。	○	管理者・児童発達支援管理責任者及び指導員が出席している	引き続き、同内容の取り組みを継続していきます。また、全職員での共通理解を図っていくよう努めます。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○	関係機関との連携、連絡を取り合うなどして、情報共有している	引き続き、同内容の取り組みを継続し、関係機関と連携して支援を行う体制を整えていきます。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の連絡等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○	学校との情報共有や連絡調整は常時行っている	今後も継続して行い、学校と連携して利用者様へのより良い支援を行っていきます。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○	相談員さんを通して情報を頂いている	引き続き、関係機関との連携に努めます。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○	現時点では、対象児童なし	今後、必要に応じて速やかに連携を図れるよう整備していきます。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○	互幹と連携を図り、情報共有したり、助言を受けている	引き続き、関係機関との連携を図っていきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○	不定期ではあるが、イベントを開催して地域の他の子どもたちとの交流を図る機会を設けている	今後は、計画的に交流する機会を設けていく予定しています。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○	現時点では、参加していない	今後、検討していきます。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○	些細な事でも、日常にお子様の様子を伝え合い、保護者様と情報共有している	引き続き、保護者様との情報共有を行い、信頼関係の構築に努めます。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○	現時点では行っていないが、行う予定である	今後、保護者参加のイベントを検討しています。
保護者への説明等	36	運営期、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○	入所時に説明を行っているが、問い合わせがあった際には、都度お答えし、不明点がないようにしている	引き続き、継続していきます。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○	常日頃から、ご利用者様の意向を確認できる体制を構築している	引き続き、同内容の取り組みを継続していきます。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○	支援内容の説明を行い、同意を得た上で支援を行っている	引き続き、同内容の取り組みを継続していきます。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○	必要に応じて面談を行い、相談内容に合わせた助言と支援を行っている	引き続き、同内容の取り組みを継続していきます。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○	定期的に保護者同士で交流する機会を設けており、情報交換を行っている	引き続き、保護者同士で交流する機会を設けていきます。兄弟同士の交流する機会も検討していきます。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○	苦情に対する相談窓口、苦情解決責任者・担当者を設置するとともに苦情解決マニュアルを作成しており、迅速に対応する体制を整備している	引き続き、同内容の取り組みを継続していきます。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡先等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○	HP・通信・ブログ等を活用し、行事予定や活動内容について発信している。また、家庭内で振り返ることができるよう、活動後の情報を保護者様向けに簡潔と共に関係している	引き続き、同内容の取り組みを継続していきます。
	43	個人情報の取扱いに十分配慮しているか。	○	個人情報の取扱いに十分配慮している	引き続き、同内容の取り組みを継続していきます。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○	意思の疎通が上手くいかず、情報伝達が上手くいかぬケースを避ける為、視覚情報や選択肢を与えるなどの配慮を行っている	引き続き、同内容の取り組みを継続していきます。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○	行事、祭りなどに参加している	引き続き、同内容の取り組みを継続していきます。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○	各種マニュアルを整備しており、発生を想定した訓練を実施している	引き続き、同内容の取り組みを継続していきます。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○	年に2回、避難訓練・防災訓練を実施している	引き続き、同内容の取り組みを継続していきます。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状態を確認しているか。	○	全職員で利用者様の状態を確認している	引き続き、同内容の取り組みを継続していきます。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○	食物アレルギーについて、全職員で把握し、医師の指示に基づく対応を行っている	引き続き、同内容の取り組みを継続していきます。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○	安全計画を作成し、必要な研修や訓練を行った上で支援を行っている	引き続き、同内容の取り組みを継続していきます。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○	安全確保に関して、不安がなきよう、取り組み内容について家族等へ周知を行っている	引き続き、同内容の取り組みを継続していきます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討しているか。	○	ヒヤリハットの記録を残し、事業所内での共有と再発防止に向けた方策について検討会を行っている	引き続き、未然防止、再発防止に尽力していきます。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○	社内で定期的に虐待防止のための研修を行っている	引き続き、事業所内で研修後の振り返りを継続していきます。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○	身体拘束研修を行い、やむを得ない場合について、利用者に十分に説明を行い、了承を得ている	利用者の最大の利益のために、やむを得ず身体拘束を行うことがあることを、しっかりと分かりやすく説明していきます。